

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町美術展(公募展)事業		基本目標	美術館の充実			
担当課(局)・係	社会教育課(美術館)	総務学芸係	記入者	中野恵一	評価者	三嶋俊宏	開始年度 H22 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 西都・児湯管内の美術愛好者に対して 意図・目的 地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。							
事業の内容	今回で第8回目となる公募展。西都・児湯管内の美術愛好者に作品発表の機会を提供するため、無審査制で絵画・写真・書の各部門で計116点を展示。							
22年度決算額	6	千円	23年度予算額	5	千円	事業従事者数	H22 0.20 人 H23 0.20 人	
主な支出項目	宅配料	6	千円	国庫支出金		22年度人件費	1,439 千円	
			千円	県支出金		23年度人件費	1,427 千円	
			千円	地方債		23年度予算額における一般財源の割合(H23)	100.0 %	
			千円	一般財源	5	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 H25 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
補助の割合		#N/A	%					
	繰越額	#N/A	円					

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 出品数	出品数の増加で、より多くの人々の美術館利用を促す。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼
	3 募集依頼(何ヶ月前)	制作期間等を考慮した募集時期の設定

## ◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	観覧者数	目標値	1,000	1,000	1,000
		実績値	1,186	919	
		達成率	118.6%	91.9%	
	出品数	目標値	120	120	120
		実績値	133	116	
		達成率	110.8%	96.7%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	広報活動数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	募集依頼(何ヶ月前)	目標値	4	4	4
		実績値	3	3	
		達成率	75.0%	75.0%	

事務事業名	高鍋町美術展(公募展)事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	---------------	--------	------------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 地域に根ざした公募展で作品発表の場を提供。公募展自体は、新聞社や県主催の大規模なものから、各市町村でたいてい開催されている。西都・児湯管内の愛好者の作品を美術館に展示することで良い刺激や励みになると思われる。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	0	-
	◎事業廃止による影響があるのか	1	-
有効性 美術愛好者の制作意欲は素晴らしく、見応えのある作品が多い。出品者が増加するにつれ観覧者も波及して増加するものと思われる。観覧者数は前年に比較して約2割減少した。	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性 申込用紙の簡素化で受付事務作業量を軽減。応募依頼先を新規開拓すれば、応募者の増加が見込める。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性 審査を行い賞を設けるのであれば、実行委員会を組織しての開催が望ましい。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		8	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性) 他	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	年々この事業の内容について、底辺の広がりや作品の質の向上が著しい。出品条件の見直し、応募告知の拡大を進める事により、より一層質の高い内容・出品数の増が期待できる。今後ともこの事業を行うことにより、高鍋町だけではなく、『西都・児湯地区の美術館』として認知され、地域住民の誇りとなるよう努力していく。 審査制や賞については、予算的な問題や実行委員会の組織作り等が発生するが検討していきたい。	今後の方向性			
			拡充	現状維持	縮小	廃止
					○	
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎企画展が美術館運営の基礎となるので、少ない費用でより高い効果を上げてもらいたい。 ◎美術館の入館者増加を図るには、どのような企画で、経費はどう工面するのかなど毎年検討するのではなく、長期的計画を持って取り組むべきと考える。 ◎表彰までが必要か検討してほしい。 ◎多くの人に見てもらうことが主であれば現状維持と考える。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	